

目標未達成理由等の報告書

平成27年度
経営体育成支援事業

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
山形県	南陽市	赤湯地区	27	29	南陽市

地区の成果目標ごとの未達成理由等

成果目標項目	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置 及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	希望する耕作条件に合致する圃場が見つからなかったため。	人・農地プランによる掘り起こしや関係機関と連携することで、令和2年度に達成を目指す。 ※令和2年度に達成済み。

地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について</p> <p>農業経営の特色として土地利用型と果樹の複合経営が多く、農地利用集積等の現状をみると高齢化が進み、荒廃農地となるところが出てきている。そのような中で、担い手への農地集積による経営基盤の強化や、後継者の確保に取り組みながら農業集落の維持・発展を図り、今後は農地中間管理機構の活用等による利用集積を促進することとし、集落営農の育成等を強化することとする。</p>
<p>2 必要となる中心経営体の育成について</p> <p>中心となる経営体は存在するが、後継者、担い手の不足が見込まれる状況であり、経営体の高齢化にともない、農地が荒廃すること等が課題となっている。今後は、中心経営体において農地集積を進めるとともに、設備の更新・導入により作業の効率化を図り経営基盤を強化するなど、地域農業の活性化が求められる。また、この地域にあるべき中心経営体として経営改善状況等を引き続きフォローアップしていく必要があり、将来の地域農業を担う新規就農者の育成・確保に向けた検討等を行っていくこととする。</p>
<p>3 人・農地プランの作成・見直し等について</p> <p>現行の人・農地プランは、平成24年に地区で作成し、地域農業を支える中心経営体を主体に話し合いを進めてきた。今後も農地利用集積の状況等を十分勘案し、地域の担い手を掘り起こし新規就農者を確保するなど、市全体の現状を踏まえて、毎年度、人・農地プランの見直しを実施する。</p>
<p>4 未達成者の対応等その他</p> <p>構造政策を効果的に推進するため、市全体の中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえて、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、今後も関係団体等と連携を図り未達成者への対応を行う。</p>